大分合同新聞

ワークシート

藤井四段、28連勝

年　　組　　名前

① 藤井四段の快進撃の要因を二つ、記事の「リード」の部分の言葉を使って書きましょう。

② 藤井四段が小学校までに、将棋以外に熱中したことを四つ挙げてください。

③ 藤井四段の母親が、藤井四段のために普段やっていることをまとめてください。

快進撃生む集中力

14歳藤井四段28連勝

母親ら温かく支える

プロデビューから約半年で「28」の最多連勝記録に肩を並べた最年少棋士で中学3年の藤井聡太四段(14)。白星を重ねる快進撃の要因は、幼少期から将棋でも遊びでも好きなことに打ち込んできた持ち前の集中力だ。そばには温かく見守り、才能を育んできた母親や指導者らの姿があった。

沢田真吾六段を破り、公式戦連勝記録で歴代最多に並ぶ28連勝を達成した藤井聡太四段＝21日午後、大阪市の関西将棋会館

「頭が割れそう」

「考えすぎて頭が割れそう」。幼稚園児だった藤井四段が難解な詰め将棋に挑んだ際に口にした言葉という。「好きなことには本当に夢中になる。他のことに注意がいかなくなるぐらい」と母親の裕子さん(47)。

「何かに集中しているときは極力、邪魔しないようにしてきた」といい、勝敗を気に掛けながらも、落ち着いて目の前の対局に取り組めるように普段は勝ち負けの話はしないことにしている。

めきめきと上達

サラリーマンの父と専業主婦の母の間に生まれた藤井四段が将棋を始めたのは5歳のとき。愛知県瀬戸市の自宅の隣に住む祖母(75)から子ども用の将棋セットをもらい、相手をした祖父＝故人＝はすぐに歯が立たなくなって近所の将棋教室に通いだした。

1年ほどで20級だった階級を4級まで上げるなどめきめきと上達。6歳の誕生日には幼稚園でカードに「将棋の名人になる」と残していた。

指導した文本力雄さん(62)が「駒を触るのが好きだったんでしょう」と話す通り、教室も年3回の合宿も皆勤賞で、要望に応じて週3回の教室を1回増やした時期もあった。負けるといつも泣きじゃくったが「心行くまで泣かせた」という。

熱中したのは将棋以外にも。幼少期にはプラレールやボール遊びも好んだ。親族が教えた迷路作りに没頭し、見よう見まねで書き出していた。小学生になると、司馬遼太郎の「竜馬がゆく」や沢木耕太郎の「深夜特急」を読みあさった。

小学校卒業後は進学校へ。好きな科目は地理で、国名や山の標高を数多く暗記した。高校時代に山岳部に所属していた4歳年上の兄と山の話題で盛り上がることもあり、卓上サッカーゲームは今でもたまに遊んでいる。

成長の余地あり

藤井四段は将棋界でどこまで勝ち上がるのか。「持っているものが素晴らしいので、意識的に技術指導はしなかった」という師匠の杉本昌隆七段(48)は言葉に力を込める。「完成された将棋と言われるが、まだまだ成長する。順調にいけば数年後には他の棋士が手を付けられない存在になる」

藤井聡太四段の公式戦全成績

	対局日	棋戦名	対戦相手
❶	2016年12月24日	竜王戦＝現役最年長棋士から初戦白星	加藤一二三九段
❷	17年1月26日	棋王戦	豊川孝弘七段
❸	2月9日	竜王戦	浦野真彦八段
❹	23日	NHK杯	浦野真彦八段
❺		〃	北浜健介八段
❻		〃＝羽生善治3冠のデビュー連勝記録に並ぶ	竹内雄悟四段
❼	3月1日	王将戦	有森浩三七段
❽	10日	新人王戦	大橋貴洸四段
❾	16日	竜王戦	所司和晴七段
❿	23日	棋王戦＝デビュー連勝記録に並ぶ	大橋貴洸四段
⓫	4月4日	王将戦＝デビュー連勝記録更新	小林裕士七段
⓬	13日	竜王戦	星野良生四段
⓭	17日	NHK杯	千田翔太六段
⓮	26日	棋王戦	平藤真吾七段
⓯	5月1日	竜王戦	金井恒太六段
⓰	4日	新人王戦	横山大樹アマ
⓱	12日	王将戦	西川和宏六段
⓲	18日	加古川青流戦＝公式戦連勝記録でトップ10入り	竹内雄悟四段
⓳	25日	竜王戦＝竜王戦決勝トーナメント進出	近藤誠也五段
⓴	6月2日	棋王戦＝棋王戦本戦トーナメント進出	沢田真吾六段
㉑	7日	上州ＹＡＭＡＤＡチャレンジ杯＝公式戦連勝記録単独６位	都成竜馬四段
㉒		〃＝３位タイ	阪口悟五段
㉓		〃＝単独３位	宮本広志五段
㉔	10日	叡王戦＝２位タイ	梶浦宏孝四段
㉕		〃　＝単独２位	都成竜馬四段
㉖	15日	名人戦順位戦Ｃ級２組	瀬川晶司五段
㉗	17日	朝日杯将棋オープン戦	藤岡隼太アマ
㉘	21日	王将戦＝最多１位タイ	沢田真吾六段

（2017年6月22日付朝刊社会面）